

子どもだけでも安心して生活させたいと思うお父さん、お母さんへ

東日本大震災支援 暮らしの学校『だいだらぼっち』（山村留学）募集要項 (2011年4月10日現在)

1. 名 称

暮らしの学校『だいだらぼっち』東日本震災支援

2. 体 制

主 催：NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター

共 催：泰阜村・泰阜村教育委員会

後 援：長野県・長野県教育委員会

3. 場 所

〒399-1801 長野県下伊那郡泰阜村6218-22

暮らしの学校『だいだらぼっち』

4. 期 間

数ヶ月～1年間（2012年3月31日まで）。

※年度途中の参加（6月から参加など）も可能。

※年度途中での帰宅（11月で帰宅するなど）も可能。

5. 形 態

長期滞在型教育プログラム（山村留学）

6. 募集人員

残り3名

※4月1日現在、2名（中1女子、小5女子）の受け入れが始まっています。

7. 応募条件

- おおよそ小学3年生から中学2年生まで
- 自分から参加を決意した者であること
- 保護者・本人が震災支援事業の趣旨をよく理解していること
- 泰阜村の小・中学校に通うこと
- 通常は、所定の面接に参加することが必要ですが、震災支援事業においてはできる限り省略し、子どもと保護者の意思を確認する場を設けます。

8. 参加費

- 参加にかかる経費及び生活費は全額主催者・共催者が負担します。

9. 申込期間

- 随時。ご相談ください。

10. 参加まで

まずは、**参加の意思表示**を下記までご連絡ください。その後、次の段取りを経て参加を決定いたします。

① **意思確認の場**

主催者担当スタッフが現地へ伺い、事業の趣旨説明をさせていただくと同時に、こどもと保護者の意思を確認します。

② **受け入れ検討**

阪神大震災時に3年間被災児童を受け入れた経験をもとに受け入れ可能かどうかを判断させていただきます。

③ **決定後**

受け入れが決定した場合、主催者スタッフがこどもを迎えに行きます。その後、参加に関する書類交換をします

1 1. 一番大事なもの

やる気、復興しようという強い意志

1 2. その他

① 主催者のNPO法人グリーンウッド自然体験教育センターと泰阜村は、阪神大震災の時に被災児童（小4、小5、小6）を3年間受け入れました。生活受入を山村留学施設、学校教育を村教育委員会と村小中学校、全般サポートを地域住民、経費負担を泰阜村、という村内協働のスタイルで実施しました。

今回の震災支援事業も、同様の協働スタイルで実施します。

② 泰阜村の松島貞治村長のメッセージがあります。ご覧ください。

● 泰阜村長からのメッセージ

長野県泰阜村は長野県南部に位置する人口1900人の小さな山村です。在宅福祉政策を「共助」の仕組みと位置づけ、村民皆で支え合う村づくりを展開しています。

このたびの東日本大震災におきましても、このような支え合いによって成り立つ村が、村内の資源を総動員して微力ではありますが支援をさせていただきたいと強く思っております。

ご両親は仕事や復興で居住地を離れられないが、こどもだけでも安心して生活させたいと感じられている方、ご希望があればご連絡をいただければ幸いです。4月1日現在、すでに2人の被災児童の受け入れが決まっております。

泰阜村は、阪神大震災の時は、村内のNPO、小学校、役場、村民が協働し、被災児童を3年間山村留学にて受け入れました。経験と実績もありますのでどうかご安心してご連絡をいただければ幸いです。

1 3. 申し込み先・問合せ先

お問い合わせは、下記までご連絡ください。

〒399-1801 長野県下伊那郡泰阜村6342-2

NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター 震災支援係

TEL：0260-25-2851 FAX：0260-25-2850

E-mail：daichi@greenwood.or.jp（担当/辻）

携帯：080-2055-0655